

防災行政無線の整備計画

市では全域に防災行政無線の整備を進めており、防災情報のお知らせや災害発生時の連絡体制の強化を図ります。すでに日吉町地域と八木町地域では、防災行政無線を整備しました。今年度から美山町地域、来年度以降に園部町地域でも整備を進めていきます。

また、特に台風や大雨が発生しやすい季節には、雨雲の動きや河川の状態など、ありとあらゆる情報を入手しながら、いざというときには避難準備情報、避難勧告および避難指示を防災行政無線などを通じて発信し、市民の生命と財産を守ります。

そのほかの防災情報

京都府のホームページでは各地の雨量、河川水位情報、土砂災害



▲(図①) 京都府・市町村共同統合型地理情報システムの携帯版QRコード。携帯電話で上記のバーコードを読み取るか、http://g-kyoto.pref.kyoto.lg.jp/mobile_gis/index.aspへアクセスしてください。

警戒情報が閲覧できるほか、京都府・市町村共同統合型地理情報システム(<http://g-kyoto.pref.kyoto.lg.jp/gis/usher.asp>)には避難場所と地図

が掲載されているので、災害に備えて近くの避難所を確認することもできます。(図①)

携帯電話のサービスでは、京都府の防災・防犯情報メール配信システム(<http://www.pref.kyoto.jp/shobo/mail.html>)で、登録者に気象情報(注意報・警報など)、防災情報(防災啓発情報や災害時におけるお知らせ情報など)などを配信しています。(図②)

ぜひ、活用してください。

ハザードマップを作成

市では今年度、防災ハザードマップ(危険個所分布図)を作成します。防災ハザードマップとは、河川が大雨で増水し氾濫した場合



▲(図②) 京都府の防災・防犯情報メール配信システムに登録するためのQRコード。携帯電話で上記のバーコードを読み取るか、anzen@k-anshin.pref.kyoto.jpに空メールを送ってください。

の浸水想定区域や、土砂災害などが起こりやすいような危険個所、各地域の避難所などが記されているもので、市民の皆さんに配布するものです。今年度中に作成して全戸配布しますので、いざというときの避難行動や防災活動に役立ってください。

学校施設の耐震化

市では幼稚園・小・中学校の耐震診断を平成18年度に実施しました。その結果、耐震補強をしなければならぬ建物12校25棟、改築の検討をしなければならぬ建物が2校2棟ありました。市学校施設耐震化検討委員会で検討いただき、平成21年度から7年計画で工事を行う予定です。

南丹市消防団の活動

南丹市消防団は、旧町ごとに組織された4つの支団、19の分団からなり、消防ポンプ車両16台、小型ポンプ90台などを地域に配備し、災害に備えています。

団員数は1,571人(4月1日現在 団長を含む)で、団員はひとたび災害が発生すれば、現場に駆けつけて消火活動や復旧活動に当たります。また、年間を通じて定期的に各種訓練や防災啓発活動



▲消防操法大会の様子(6月15日美山支団)

を行うなど、地道で多岐にわたる活動を行っています。

今年は2年に1度の京都府消防操法大会の年でもあり、各支団では大会に向けて訓練に取り組んでいます。

私たちができること

災害はいつ、どこで発生するかわかりません。だからこそ、日ごろから避難経路の確認や防災対策、素早く避難するための備えをしておくことが大切です。そして、いざ災害が起こったら、まず自分の命を守る行動をとってください。それから、地域や市と連携して被害を最小にとどめ、私たちのまちを守りましょう。